

嵐プリンス箱粒剤10の播種時覆土前処理による イネいもち病およびイネ紋枯病の省力防除法

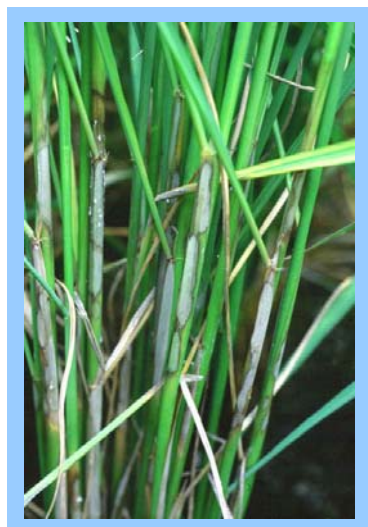
- ・一成分で、2つの病気を防除（減農薬）
- ・播種時に処理するので田植えに専念（省力）
- ・平坦地では穂いもちにも効果（省力）
- ・苗いもちにも効果

播種時覆土前に
薬剤・50g/箱を
散布するだけ！

【いもち病】



【紋枯病】



最も恐ろしい病気

〔コシヒカリ、ひとめぼれ→弱い〕
(減収・品質低下)

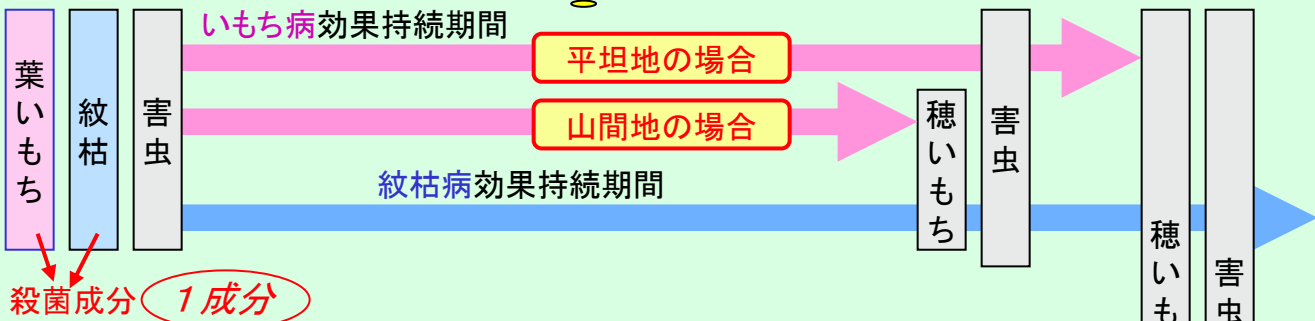
近年、被害増加

〔コシヒカリ→とくに弱い〕
(減収・倒伏)

高い効果と長い効き目

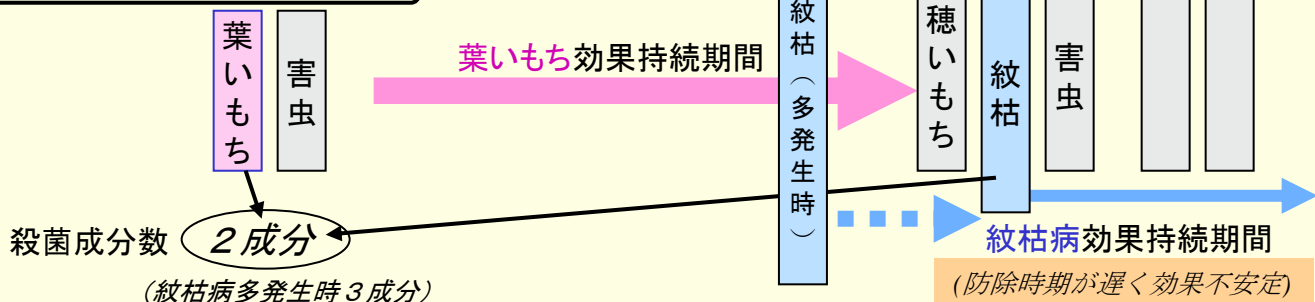
嵐プリンス箱粒剤10
播種時覆土前処理

新防除法

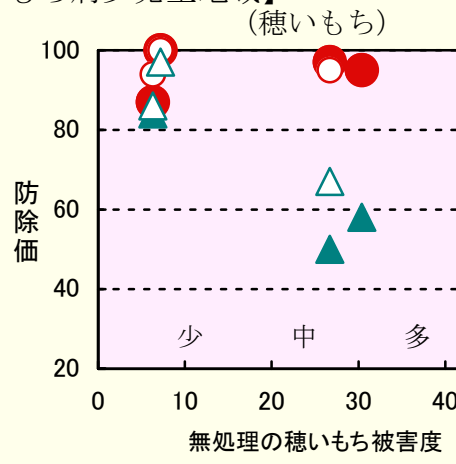
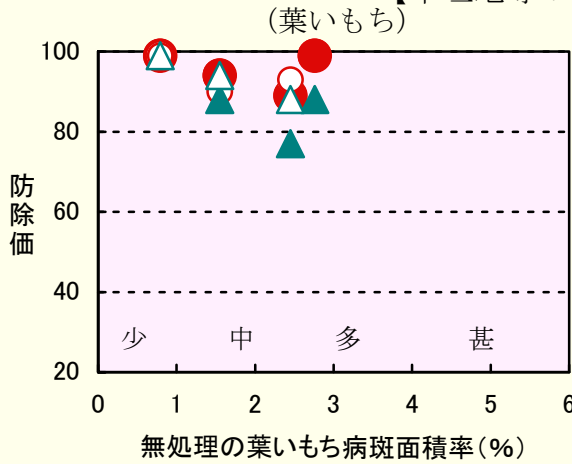


従来の防除法

播種時覆土前または移植時処理



【平坦地等のいもち病少発生地域】

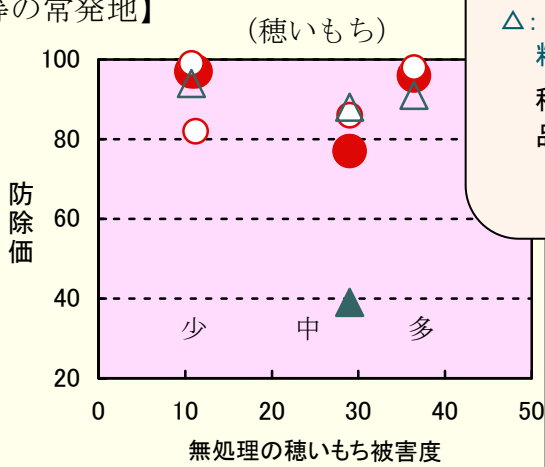
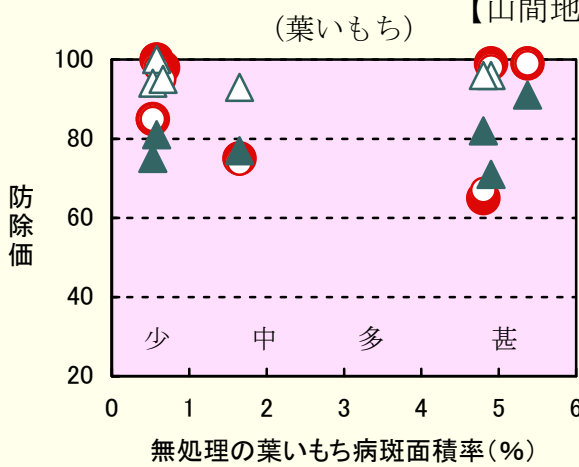


いもち病に対する嵐プリンス箱粒剤10の播種時覆土前処理の防除効果(平坦地)

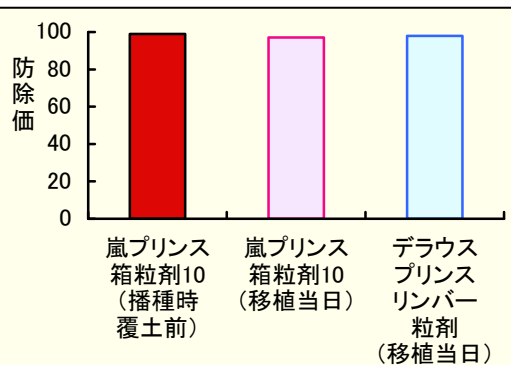


- : 嵐プリンス箱粒剤10 (播種時)
 - : 嵐プリンス箱粒剤10 (移植当日)
 - ▲: Dr.オリゼプリンス粒剤10H (播種時)
 - △: Dr.オリゼプリンス粒剤10 (移植当日)
- 移植当日、50g/箱
品種: コシヒカリ
または
ひとめぼれ

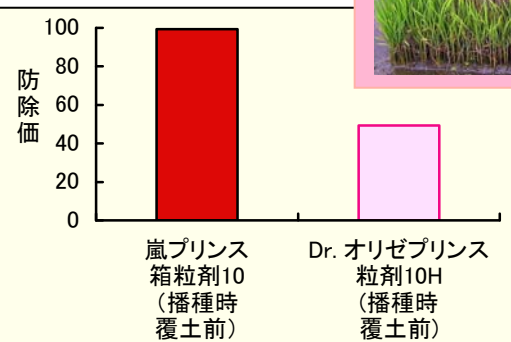
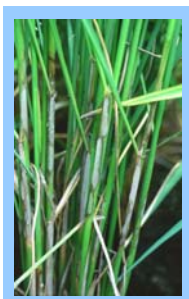
【山間地等の常発地】



いもち病に対する嵐プリンス箱粒剤10の播種時覆土前処理の防除効果(山間地)



紋枯病に対する嵐プリンス箱粒剤10の播種時覆土前処理の防除効果



苗いもちに対する嵐プリンス箱粒剤10の播種時覆土前処理の防除効果

- ・嵐プリンス箱粒剤10は、播種時から移植当日まで、いつでも散布できます。
- ・育苗箱全量施肥法(苗箱まかせ等)と嵐プリンス箱粒剤10の播種時覆土前処理の組合せも可能です。
- ・嵐プリンス箱粒剤10等を使用しても、環境条件等によっては十分な防除効果が得られない場合がありますので、病害虫の発生状況に応じて追加防除等の適切な対応を行いましょ。
- ・いもち病の薬剤耐性菌の発達を防ぐために、ストロビルリン系薬剤の使用は年1回を基本としましょう。ストロビルリン系薬剤には、嵐プリンス箱粒剤10、嵐ダントツ箱粒剤、嵐粒剤、オリブライト1キロ粒剤、イモチエース粒剤、イモチミン粒剤、等があります。また、エコホープDJ等の生物農薬との同時あるいは近接処理は、生物農薬の効果に影響するので注意が必要です。

本書から転載複製する場合には
必ず鳥取県農業試験場の許可を受けて下さい

(お問い合わせ先)
鳥取県農林総合研究所農業試験場 環境研究室
電話 0857-53-0721